

北海道建設新聞  
2011年(平成23年)11月25日(金曜日)

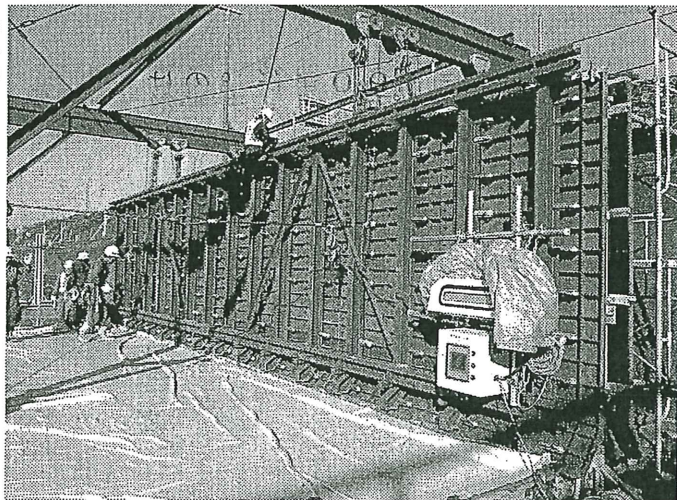
新昌建設

# 作業効率がアップ

## 移動式鋼製型枠の試験施工

### 北海幹線用水路に採用

新昌建設(本社・当別) 福栄橋上流工区の現場 試験施工に取り組んだ。  
は、札幌開建発注の北海 一帯に移動式鋼製型 設置や脱型が簡単なため  
一期地区北海幹線用水路 枠を用いた用水路改築の 素早く施工でき、大幅な



工期短縮につながるなどの  
検証結果を得た。  
移動式鋼製型枠は、同  
一構造物の施工が続く  
トンネル現場などで採用

されている工法。設置し  
たレールにより型枠を  
移動させることでコンク  
リートの連続打設ができ  
るため、作業効率が向上

北海幹線用水路に導入し  
た移動式鋼製型枠

する。

また、鋼製型枠は木製  
型枠に比べ、繰り返し使  
用の耐久性が優れている  
ことから、同一規格の構  
造物を連続施工するのに  
適している。

同社が施工している福  
栄橋上流工区は、同じ規  
格の用水路工が延長37  
0mにわたって続く現  
場。農閑期に入る10月か  
ら積雪前の12月ごろまで  
の短期間で仕上げなけれ  
ばならないこともあり、  
導入に踏み切った。

移動式鋼製型枠1組を  
使って試験施工。計4回、  
延長46mにわたるコンク  
リートを打設した。

打設準備に要する時間  
を比べると、型枠大工4  
人で作業した場合、木製

型枠は脱型に1日、移動  
に半日、セットに1日の  
計2日半を要す。それ  
に対して移動式鋼製型枠  
は、慣れもあるが最短で  
脱型に1時間30分、移動  
に30分、セットに1時間  
30分、計3時間30分で完  
了するという。

現場代理人の沢田圭市  
さんは「木製型枠は脱型  
と再利用の過程で一度型  
枠を全てほぐし、再度組  
み立てる必要があるが、  
移動式鋼製型枠はレール  
が付いているので、その  
手間が省ける」と導入効  
果を説明。ただ、鋼製型  
枠は割高のため、本格導  
入には採算面で検討の余  
地があるとも指摘する。  
導入コスト面での課題  
は残るが、「工期を短縮  
できるメリットは非常に  
魅力的」とアピールして  
いる。